

ビブリア

発行 いわき市平上荒川字長尾30
福島工業高等専門学校
編集 図書委員会 ビブリア編集部
平成3年3月13日

福島高専図書館報第70号

巻頭言

自分はどこから来て、どこへ行くのか



橋本 孝一

◆中国や韓国の年輩の方には、日本語が達者な方がいる。私の知人で、中国の南京市に住む方もその一人である。なぜ、日本語を知っているかという、特別、日本語学校に行ったわけではない。その方の歩んで来られた時代を、日本の昭和史と重ねれば、自ずとその理

由は、はっきりしてくる。いや、私自身必ずしも充分理解しているか否かを自問自答すると怪しくなってくる。あわてて日本の近代史をひもといたりする。◆国際化社会の到来とよく云われるが、激しく揺れ動く現代社会の中で、自分を見失わず、自分の個性を発揮しながら人生を全うすることは、極めて難しい時代だと思う。かえてこのような時代こそ、じっくり自己のルーツを見定めることが大切なのではないだろうか。自己のペースで考えを練り、視野を広げていける最も有力な手段は、読書をおいて他には考えられまい。◆「生きていく上で役立つ読書とは」を基準に、読書の内容を分類してみると、3つに分類できるかと思う。第一は、職業人として必要な知識を得るた

めの読書(勉強)。幅広く考えれば、諸君が毎日接している教科書や参考書を読み理解することも、この範疇に入れていいだろう。第二は、人間としての自分を知るための読書。人間には、時代が変わってもあまり変わらない部分があると思う。これらは、文学作品の主要なテーマでもある。いわゆる「古典」として長く時代を生き残ってきた作品には何か強く訴えるものがある。第三は、自分のルーツを理解するための読書。自分のルーツを知るには、自分がどのような時代に生きているのかを見定めることが大切である。また、自分を育ててくれた親はどのような時代に生き、どのような価値観で育ててくれたのか。日本人はどのような生き方をしてきたのか。世界は、……。果てしなく広がっていく。しかし自立的に生きていくには、欠かせない読書範疇である。

◆私が、本校の学生の多くに対して感じるのは、第二・第三の読書が少なすぎるのではないかと云うことである。安易に商業主義に乗せられて青春を浪費していなければよいが、と老婆心ながら思ってしまう。自由な時間を、「安直な自由」で糊塗するのではなく、自己を充実させる時間として活用して欲しいと思う。そのような学生の熱気で図書館が一杯になることを望んでやまない。私自身にも言い聞かせつつ。

(土木工学科教官)

目次

巻頭言	(橋本孝一)	1
随想	(芋川平一)	2
後輩に推す一冊		3
図書館だより		11

読書の楽しみは、「謎解き」の楽しみ

芋川 平一



私が、福島高専に赴任して23年、「ビブリア」が発刊されて丁度20年たった。私にとって「ビブリア」は、「学園通信」とともに、自分の分身のような気がする。「先生の顔を

見ると、原稿催促かと思う」と冗談をおっしゃっていた先生とか、創刊号から最新号まで読み返してみても、高専OBの先生方の「学生時代」の寄稿文を見つけて、読み直してみたりしている。

その間、私は、毎年毎年、われながら厭きもせず・・・とは言うものの、実はいささかレポート読みにくたびれているのだが・・・「読書ノート」を提出させ、「〇〇について論ぜよ」という課題を出してきた。時にはグループをつくらせて、皆の前で発表させたりもした。(これは4年生位になると、結構上手くやるものである。)

しかし「読書感想文」と聞いただけで、露骨にイヤナ顔をする一年生が年々増えている。マンガ世代にとって、本を読むことは、よほど苦手のように、自分の意見などを発表することは下手なくせに、イヤナ顔を見せること(演技)は大変に上手である。

・・・今後、彼らをパフォーマンス世代と呼ぶことにしよう。(彼達および彼女達の名誉のために、一言付け加えておくと、読書感想文を嫌がるわりには、まともな文章を書いているのだ。～しかし、個性的な文章は少なくなかった。)

ところで私は、ここで世代論をするつもりではなく、私の読書の楽しみ方を、ご披露し

ようというわけである。たとえば、自分が好きな作家という場合に、その好きな理由は、ストーリーの面白さだけではなくて、その作家独特の文体にも惹かれているのである。自分と波長が合うと言っても良いかもしれない。堅い論文＝学術論文でもそれと同じことが言えそうである。難しい本を読んでも、文章の背後に、作者の顔が見えてくるものだ。

この文章の調子は、作者が、呻吟しながら一字一句しぼりだすように書いたな、とか。

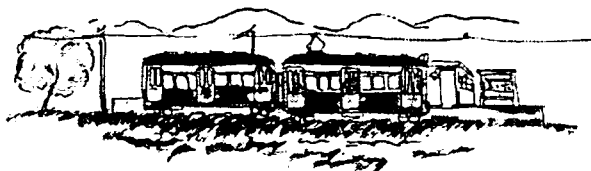
自信がないのにハッキリを利かしているな、それに少々アルコールが入っているらしい、とか。いろいろと空想する楽しみ方である。

著者には、不謹慎な態度で申し訳ない気がしないでもないが、それがまた読書の楽しみでもあるのだ。自己顕示型・闘争型・韜晦型・遁走型・言訳型 などなど十人十色、またその時々で、千変万化する文章の面白さ。これこそ読書の醍醐味と言っていいだろう。ところが、直接お目にかかってみると、文章で想像したのとは全く違った印象の人もある。それがまた「謎解き」の興味をそそるのである。かくして、人間探求という果てしなき泥沼に捉われながら、私の一生は終わるのかもしれない。

1991. 2. 22 (63才の誕生日)

★ 芋川先生は、永い間、図書館長を務められましたが、3月31日をもって定年退官されることになりました。お忙しい中、寄稿文をいただきありがとうございました。

今後のご健勝、ご活躍をお祈りいたします。(編集部)



後輩に推す一冊

この3月に卒業する5年生が後輩諸君に推薦する本。なかにはジョーク(のつもり)も間々ありますが、古典からマンガまでバラエティーに富んでいます。

先輩の顔を思い浮かべながら、リストを辿れば読んでみたい本に行き当たると思う。

機械工学科

1番 赤津 一夫
しげの 秀一著 「バリバリ伝説」
NSR500でGPに殴り込んだグンの青春。俺はヒデヨシが好きだ。

2番 猪狩 尚夫
宮崎 駿著 「風の谷のナウシカ」
歴史に残る感動の名作巨編。一見の価値あり。

3番 和泉 昭博
サキヒトミ著 「ワンルームストーリー」
短編小説ならず短編漫画。でも内容は豊富だよ。

5番 岩淵 賢治
芥川 龍之介著 「羅生門」
人生の選択を迫られた下人の心境の変化が実にリアル(おもしろーぞ)。

6番 江尻 宏明
弘兼憲史著 「課長 島耕作」
これから社会人になる人達へ!!。

7番 大谷 純
懶山海堂 「GPX」
これを読めば、誰でもF-1オタクになれる。

8番 岡部 信一
講談社 「HotDogPress」
女の子を口説くには最適の本。

9番 尾塩 雄一
CBS・SONY出版
「FIELD&STREAM」
フィールドで生活するための米国フィールド&ストリーム誌提携・アウトドア

マガジン。

10番 小野 忠紀
山海堂 「CYCLE SOUNDS」
ロードレースファン必見の本。

11番 小野 義人
さくらももこ著 「ちびまるこちゃん」
まるこちゃんと仲間たちの大ボケとメルヘンのほのほのエッセイ。必読。

12番 樫村 康弘
片山 まさゆき著 「スーパーズガン」
明智、織田、徳川の三人の麻雀技術をマスターすれば、君はもうハコをかぶる必要はない。

14番 榊田 俊幸
「CARBOY」
ためになる。

16番 小林 昌史
西風著 「GTロマン」
車の魅力が溢れ出してる。

17番 小松 卓也
自動車技術会編 「自動車技術会誌」
自動車通に、この一冊。

18番 坂本 守生
麒麟ビール株式会社編
「ビールのうまさをさぐる」
夏はビール!!。

19番 佐野 成人
田中 誠著 「ギャンプルレーサー」
関 優勝 S1
東京39期 戦法: 追込み
ホームバンク: 立川 西武園
金儲けしたい人は必見。

20番 四家 清司
懶内外出版社 「ヤングマシン」
バイク好きの人におすすめの一冊。

21番 菅原 寿道
夏目 漱石著 「それから」
面白い。

22番 鈴木 伸昭
スポーツニッポン掲載
「平バンク大作戦」

頭一発、勝負レース!!
打鐘後の一捲り

25番 高木 勝則
片山 まさゆき著
「ノーマーク爆牌党」
マージャンやるならこの一冊!!

26番 高谷 哲司
司馬 遼太郎著 「峠」
長岡藩家老 河井継之助の一生を描く
小説。

28番 円谷 真司
C・W・ニコル著 「カモメのジョナサン」
寝る前に読んで下さい。

29番 富澤 弘成
「Motor Fan」
男だったらメカに強くなれ。

30番 長谷川はやと
ベースボールマガジン社
「ラグビーマガジン」
ラグーマン必読の書。

31番 星 圭
二谷 友里恵著 「愛される理由」
とにかく読みなさい。

32番 本多 信二郎
隆 慶一郎著 「一夢庵風流記」
この本は週刊少年ジャンプに好評連載
中の「花の慶次」の原作本であり、第2
回柴田廉三郎賞を授賞した名作である。
前田慶次の生きざまに男を感じた人は是非
読むべし。

33番 村田 裕俊
海音寺 潮五郎著 「平 将門」
正義を愛した男の一生を描く時代小説

34番 柳沼 哲也
「WIZZMAN」
ボルシェ・フェラーリ・アルファロメ
オ・フィアットなど外車情報満載。

35番 矢吹 哲一
かわぐちかいじ著 「沈黙の艦隊」
今までにないストーリー展開で、とて
もリアリティーが有り、皆さんにも読ん
でもらいたいです。

36番 山野辺 貴信
ウェイン・W・ダイアー著
渡部 昇一訳・解説
「どう生きるか自分の人生」
周囲のことにあれこれとらわれなくて
生きる方法を説いた本。いつ、どんな場
合でも絶対後悔しない”最善の生き方”
をしたい人に薦める。

38番 渡部 彰一
田山アロ著 「パチプロ日記」
池袋のS店で繰り広げられる愛と感動
の物語。

39番 渡部 剛志
氷室 冴子著
「なんて素敵にジャパネスク」
恋にまつわる事件の数々。んー雅び!

電気工学科

2番 赤津 正成
少年出版社 「パチンコ必勝ガイド」
読んでも勝てません。

3番 阿部 秀征
シドニー・シェルダン著 「時間の砂」
最後まで読んでみないと、この面白さは
分からないだろう。

4番 猪狩 孝洋
トム・克蘭シー著
「クレムリンの枢き郷」
ソ連のスパイをめぐるKGBとCIAの
かけひきが面白い。

5番 泉 精一
モーターマガジン社 「モーターファン」
自動車社会、交通心理学など自動車に関
連したことも書いてある。

6番 遠藤 貴男
麻田 哲也著 「麻雀放浪記」
麻田哲也の名作
麻雀の分かる人は必読!
イカサマの大技の応酬が手に汗にぎる。

7番 遠藤 忠伸
「NHKテレビ技術教科書」
TVについてよく分かる!

8番 大平 淳

ワニブックス社

「Twinkle Angeles」

この本を買わずしてウインクファンとは言えない。

ウインクファン必見の書物!

9番 小川 弘幸

多湖 輝著

「頭の体操」

頭の体操になる。

10番 香野 奈津恵

群 ようこ著

「無印OL物語」

OLの姿を描いた短編小説です。

OLが何を考え、何をして生活しているかが、とても楽しく現実感あふれた表現で書かれています。ぜひ一度、読んでみて下さい。

11番 小林 潤一

森村 誠一著

「人間の証明」

黒人が、高層ビルのエレベーター内で、ナイフで殺された。この事件を解くカギは”母さん、僕の麦わら帽子

一体、どこへいったんでしょうね”で始まる一冊の詩集。

12番 斉藤 靖弘

ステファン・グレイブ著

「マイアミバイス燃えるフロリダ」

ソニーとタゴスの黒人刑事が繰り広げるスリルとサスペンスが面白い。

13番 佐藤 和彦

赤川 次郎著 「三毛猫ホームズの四季」

ストーリーが一転、二転、三転さらに四転として、すごく面白い。

14番 佐藤 浩司

ビートたけし著

「教祖誕生」

君でも教祖になれる!

15番 佐藤 孝

五島 勉著

「ノストラダムスの大予言・中東編」

イラクのクウェート侵攻後に書かれたこの本。人質解放を的中させた点などは、恐ろしいじゃありませんか。

16番 椎本 芳則

「Newton」

一般向けの科学雑誌!

17番 清水 利晃

「教科書」

いろいろあるよ!

18番 遠山 宏

「BROTHERS」

人間より人間らしいHEM(サイボーグみたい)が大活躍。

19番 永山 修一

菊池 秀行著

「"D"シリーズ」

面白い。が、続刊がなかなか出ない。菊池いっ!!仕事さぼってんじゃじゃねーよ!早く続刊を書いてくれ!!

20番 野口 泰孝

筒井 康隆著

「48億の妄想」

テレビに支配された人間を皮肉った作品。20年も前に出されたSFだが、その世界は、現代とよく共通する感じがする。

21番 箱崎 善彦

渡辺 淳一著

「うたかた」

この人の描く描写のすばらしさ、特筆です。インモラルが嫌いな方も、好きな方も、これ読んで気分ひたって下さい。この人の本はこういうのが多いので好きな方はどうぞ!

22番 波多野 直行

「三国志演義」

国の興亡、人の生きざまがそれぞれ面白く描写されている。しかし、時々挿入してある漢詩は、少しつらいかもしれない。

23番 松田 典之

水野 良著

「ロードス島戦記」

R. P. G. 愛好会への手解き書!

24番 三浦 昭浩

ピーター・アネット著

「サダム・フセイン」

フセインの誕生から現在の政権を握るまでの経いをあらわしたもの。

25番 緑川 博之

片山 敬済著

「チャンピオン2輪テクニク」

コーナーは、イン・イン・インで攻めまくれ!やられたらやりかえせ!外足荷重なんてクソくらえだ!

その強引な語り口調がとても心地いい。

26番 峯岸 卓也
シドニー・シェルダン著
「ゲームの達人」
必見、人生とはなんたるかを考えさせられる一冊。もー超ビックリ!

27番 峯島 一善
「高等地図帳」
地図帳です。

28番 村上 修一
太宰 治著 「人間失格」
太宰文学の代表作!

29番 柳沼 洋
「こちら亀有り派出所」
内容は面白い!

30番 山田 英信
「ガタルカナル戦記」
南海の孤島を制圧せんとす、米海兵隊上陸部隊! 必死にそれを阻止せんとす、大日本帝国陸軍! その極限状態の中で、帝国軍に奇跡は起こるのか一体!
涙無くては見られない!

31番 吉川 邦淑
シドニー・シェルダン著
「真夜中は別の頭」
読みはじめて分かる面白さ。
読み始めたら止まらない面白さです。

32番 吉田 博紀
西澤 潤一著 「独創技術の発想法」
西洋的発想法でノーベル賞を取れる様なエンジニアになれ!

33番 吉田 義美
トム・克蘭シー著
「レッドオクトーバーを追え」
最近映画化された作品です。
面白いので、とにかく一度読んでみて下さい。

34番 若松 真由美
安能 務訳 「封神演義」
「三国志」や「水滸伝」の好きな方はぜひどうぞ。

35番 鷺山 雄樹
村上 春樹著 「風の歌を聴け」
面白い!

36番 渡辺 正幸
「朝日新聞」
ためになる!

37番 渡辺 愛彦
「打鐘(ジャン)」
サイクルロマンが面白い!

工業化学科

1番 青木 茂
横山 光輝著 「三国志」(マンガ)
とにかく面白い。一度読んでみる価値あり。
楽しみながら中国史が学べる。

2番 阿部 康彦
... 著 「ビジネスマンの父より息子へ30通の手紙」
まあ一度読んでみな。

3番 猪坂 哲次
? 著 「ライオン、資生堂が恐れる花王の研究」
暴露本。読んでるうちにむかついてくる。
PHP研究所著「基本ビジネスマナー集」 「正しいことば使い」
花王に入社するとただでもらえる。

4番 伊藤 幸一
松下 幸之助 著 「私の行き方 考え方」
松下系列は、必読。企業に入る前に暇ならどうぞ。

5番 大河原 薫子
石川 好 著 「ストロベリー・ロード」
生きていく活力がわいてくる一冊です。

6番 奥平 佳江
新井 素子 著 「ひとめあなたに...」
もしも、地球が隕石によって滅びる時、あなたはどうしますか? この本の女の子は、好きな人に合うために歩きだしました。
女の子におすすめします!

7番 小沼 孝之
講談社刊 「FRIDAY」
あるとつい読んでしまう!

8番 小野寺隆夫
S. W. ホーキング著
「ホーキング 宇宙を語る」
これを最後まで読めたら根気がつきます

9番 上遠野 智子
田辺 聖子著 「私本・源氏物語」
源氏物語を現代風にアレンジしてある本

10番 門脇 秀貴
「聖書—新世界訳」
3500年の昔から、1600年かけて、
約40人の人が用いられ、3つの言語で書か
れた本です。
神の名前は『エホバ』だったんですよ。
・・・もちろん日本語で読めます。

11番 金成 昭一
プレジデント社 「実践NPS経営」
一業種一社、メーカー36社のNPS (Ne
w Production System) 導入による企業形態改
善の実録。就職先を決める前に。

12番 菊岡 英二
「エントロピー」 Blue Backs刊
物理学を越え、心理学、生物学の源となる
エントロピーの法則。
この法則に比べれば、“万有引力の法則”
なんてクソ、“相対性理論”なんてへ、
“ボイルーシャルルの法則”なんてゼロ!

13番 菊地 智明
B. ジャッド著 「F1—死への疾走」上下
主人公フォレスト・エバースのチームでお
こった奇妙な事故死。真相を調べていくうち
にだんだんとまわりの人間まで巻き込まれて
いく。F1レーサーの普段の生活が分かる。

14番 草野 雅史
わたくしは、どんなほんもおすすしませ
ん。なぜならビブリアはろくなことがかいて
あったためしがないしむせきにんなことはせ
めてほくだけでもいいたくないとおもうのは、
陽気のせいでしょうか。

15番 草野 素子
大和 和紀 著 「あさきゆめみし」
1000年も語りつがれてきた源氏物語を
華麗なタッチで描いています。紫の上は私の
憧れの女性ですが、紫の上の人生に悲しさ
を感じます。女の子は一度読んで見て下さい。

16番 斉藤 久美子
「young・ROSE」 角川文庫
ハイティーンの女の子向けの恋愛マンガで
す。あなたもこれで お・と・な

17番 相楽 好治
E・ヘミングウェイ 「老人と海」
そのうち読みたいと思います。

18番 作山 晃
横山光輝 著 「三国志」
果物ならメロン、動物ならコアラ、男なら万
蔵、パチスロならリパティールⅢ、靴なら
リーガル(28000円)、マンガなら 「
三国志」をお・す・す・め!!
By まんぞう

19番 桜田 一弘
山本 有三著 「路傍の石」
吾一少年の努力に感動。高専での勉強への
活力の源となるであろう。

20番 瀧沢 美紀
新井素子 「結婚物語」
“結婚”を夢みている人におすすめ。
考えているほどあまくない・・・ものです。

21番 中川 亜矢
森田 信吾 「栄光なき天才たち」
幅広く“天才たち”の人生を知ることがで
きます。活字を読むのが嫌な人におすすめ!

22番 中川 整
「アンチ・オイディプス」 河出書房新社
G・ドゥルーズ/F・ガタリ 著
始まりも終りもない織物の場に於て、人間
(主体)はいつまでも織り続けるしかない。

23番 中村 満
G・ガルシア・マルケス 「百年の孤独」
魔術的リアリズムの傑作

24番 野崎 竜也
横山 光輝 著 「三国志」
諸葛亮孔明は、一流のサギ師だと思う。そ
の策の全ては、すばらしい。フセインさんも
ぜひ一読!!

25番 芳賀 孝佳
「週刊プロレス」
僕は、坂口征二(現新日本プロレス社長)
のジャンピング・ニー・アタックが大好きで
した。

26番 橋本 隆
カミュ 著 「異邦人」
人生は不条理である。

27番 針生 悟志

同朋舎出版刊

「週刊 Aircraft」
航空機のすべてがわかります。
あなたも空に憧れを感じませんか？

28番 藤田 憲

羅貫中 著 立間祥介 訳

「三国志演義 上・下」
これが「三国志」の原点！ 諸葛孔明亡き後の
姜伯約・子載・鍾士季の三人の活躍は見
ものです。ぜひ一読を。

29番 古市 昭宏

潮出版社 「三国志」 横山光輝著

1人2冊で学級文庫になる。
あなたのクラスにも軍師がいる？！

30番 松本 浩紀

ヘルマン・ヘッセ著 「郷愁」
???

31番 水竹 大悟

集英社 「死神くん」 えんどコイチ画
コミック3巻「心美人」は泣けます。

32番 水野 和正

立原 あゆみ著 「本 気！」
本気と書いて“まじ”と読む。白銀 本気
の背に光る“バイオリン観音鯉づくし”が、
人としての道、教えてくれます。

33番 武藤 理

宮本 輝著 「海辺の扉」
愛しい人への生命の再生を望む、
壮大な生命の物語を描いた作品です。

34番 武藤 浩行

早川書房 「アルジャーノンに花束を」
じっくり読んで下さい。

35番 毛利 信吉

JTB刊 「時刻表」
小旅行から遠距離旅行まで旅のお供の必需
品。本校図書館にも最新号を入れてほしいも
のである。

36番 柳沼 淳夫

講談社 「別冊マーガレット」
2. 3年生のうちに読んでおくと、柔軟な
思想能力と豊かな想像力を養うことができる。
他人と差をつけたいと思っている君！この

一冊を俺は“PUSH”するぜ！！

37番 山崎 宏明

戸坂康二 著 「新ちよっといい話」
短い話が沢山載っている。長いので1ペ
ジ。飽きやすい人でもいいよ。

38番 山本 靖浩

アガサ・クリスティー著 「顔クロイド殺し」
普通の推理小説に飽きてしまった人には、
おすすめの一冊！！ 今までの本とはちょっと
ちがうよ。最後の大どんでん返しは、誰もが
びっくりするよ。是非読んでね！！！！！！
絶対読めよ。必ず読めよ。死んでも読めよ。

39番 横田 光

柳沢 きみお 著 「妻をめとらば」
妻をめとらば、才たけて、見目うるわし
けけあり・・・

40番 横田 郁

A. ビアス 著 「悪魔の辞典」
皮肉が効いてて面白い辞典です。

41番 吉田 直美

林 真理子 著
「ルンルン買っておうちに帰ろう」
面白くてすぐ読んじゃった。

42番 吉田 友一

横山光輝 著 「三国志」
コミック・トムに連載され絶賛を得た作品
が、希望コミックス全60巻になって店頭に
並んだ。あなたの忍耐力、そして記憶力を試
す一作！ 方向音痴の人にはちんぷんかんぷん

土 木 工 学 科

1番 阿部 浩

村上 龍著
POST「ポップアートのある部屋」
あの村上龍独特のたんばくな文章も好きだ
が、本全部がポップアートの写真集のよう
とても刺激されます。ポップアートに興味
のある人にはぜひおすすめてです。

2番 大隅 裕一郎

フィリップ・K・ディック著
「アンドロイドは電気羊の夢を見るか？」
1度読めば2度、2度読めば3度読み返
したくなる。隠されたテーマを探す知的興奮
が味わえる。眠れない夜のための一冊です。

3番 大津 大造
井上 靖著 「月光」
本当の愛!

4番 加沢 剛
水野 良著 「ロードス島戦記Ⅰ～Ⅳ」
登場するモンスターやイベントなどがRPG感覚で楽しめる一冊。自分の想像力次第でどんどん世界が広がっていく。登場人物に愛着を覚えられる人なら、なお楽しめるということ。

5番 草野 順一
夏目 漱石著 「坊っちゃん」
主人公のように、サッパリした嘘のない人間が少ない現在において、このような人物を手本にしていくべきではないかと思う。

6番 国井 雅子
銀色 夏生著 「悲しがる君の瞳」
私たち二人の関係が、私たち二人にしかわからない理由で、ずっと続いていきますように……。

7番 桑名 治
舛添 要一著 「サダム・フセイン」
今年一番の話題である湾岸戦争!!
その主役であるイラク大統領「サダム・フセイン」についてわかる一冊。

8番 小玉 栄二
くるみざわ こうし著
「翔んでる警視正」
主人公が痛快に事件を解決する。大変おもしろい!

9番 佐藤 弘康
吉田 戦車著 「戦え! 軍人くん」
不言実行、怖がらないで読んで下さい。

10番 白岩 十三雄
高木 護著 「人間畜生考」
なんの役にも立つな!
なんのためにもなるな!

11番 須川 勇二
三推社 我らがF1プレス編
「誰も知らなかったF1の舞台裏バトル」
F1の人気・注目度は年々高まるばかり。一步裏の世界に踏み込むと、いろんなコトが見えてくる。
今日からキミはF1博士!?

12番 鈴木 慎一
柴門 ふみ著 「新・同棲時代」
これからの男女交際の必須アイテム!

13番 玉川 勝徳
吉川 英治著 「新編・忠臣蔵」
大石蔵之助の行動に注目!!

14番 永島 博志
モーターマガジン社発行
「ホリデーオート」
好きな音楽を聴くように。僕らしいファッションを楽しむように。車も自分のこだわりで選びたい。しなやかな走り、やわらかいスタイリング、質感を極めたインテリア。

15番 中田 恵子
さくら ももこ著 「ちびまるこちゃん」
おじいちゃんともまるちゃんの絶妙なコンビネーションがおもしろい。

16番 中村 公保
生島 治郎著
「ハードボイルド風に生きてみないか」
ハードボイルド・タッチな男の生き様に憧れる人は必読です。

17番 菜花 茂正
田中 芳樹著
「銀河英雄伝説 全10巻 外伝4巻」
壮大なスケールのSF宇宙ロマン。
愛と友情と感動の嵐が吹き荒れる!!!
涙なしでは語れない。

18番 新妻 弘崇
田中 芳樹著 「銀河英雄伝説」
おもしろいです!

19番 新妻 正明
相原 コージ著 「コージ苑」
相原コージのギャグが冴えわたる、他に類を見ない本格的なギャグ4コマ漫画である。起承転結のまともりは、何か教えられるものを感じた。

20番 橋本 大介
岩波文庫 大岡 昇平編
「中原中也詩集」
中原中也と小林秀雄・長谷川泰子との関係、長男文也への愛情。大岡昇平、河上徹太郎らとの交友などを知った上で読むと更におもしろい。

21番 福田 正

栗本 薫著 「天狼星Ⅰ・Ⅱ」
生涯の宿敵シリウスと相まみれることになった名探偵・伊集院大介!! 待望の長編伝奇ミステリー。「えっ!! こんなにおもしろくていいんですか?」

22番 増子 康弘

PRIVATE CLUB編集
「L型TUNINGバイブル」
L型エンジンというと、今や過去のものとなってしまったけど、その頑丈さはチューニングファンには、まだまだ楽しめる一品。チューニングの第一歩におススメ。

23番 松崎 光英

中央公論社 「婦人公論」
なにかと為になると思います。
うん、なにかとね。...

24番 馬目 珠江

「土木へのアプローチ」
5年間、レポート作成等に何かとお世話になりました。

25番 三浦 哲也

柴門 ふみ著 「東京ラブストーリー」
恋愛に対する複雑さがストーリーを通して感じられる。

26番 三浦 直哉

福島工業高等専門学校・土木工学科
「卒業研究要旨」
卒業研究の要旨をまとめる場合、写すのに最適! 更にこの続編である本書も読めばSUMMARYもばっちり。

27番 宮崎 有希子

「ほのほの」
登場動物たちの意見にはいちいち納得させられる。私はスナドリネコさんを人生の師と仰ぎ、アライグマ君を心の友と呼びたい。

28番 山田 博樹

講談社出版 「Big tomorrow」
日頃読むのではなく、暇な時に見るとけっこう知ってて損じゃないことや、おもしろいことが載っています。

29番 山ノ辺 伸充

JICC維新軍団著 「維新軍団疾風怒濤」
初代総長・ムラマツヤスオ、総監督・中部

博、新衛隊長・清水和夫、顧問相談役・徳大寺有恒など、そうそうたるメンバーが勢揃いしている維新軍団。その4年間の軌跡。

30番 吉田 佳

吉本ばなな著

「TUGUMI〜つぐみ」

この人の本は何冊か出ていて、どれもヒットしていますが、私は、これが一番好きです。
つぐみとまりあの対称的な性格にもかかわらず何ともいえない友情が生まれてくるお話です。

31番 渡部 弘司

荒木 飛呂彦著 「バオー来訪者」

生物兵器にされた孤独な少年が1人の少女と共に、運命の闘いに身を投ずる鮮裂的衝撃作品!!!



図書館だより

★ '90年全国書店のベストセラーズが以下のようにでています。あなたの読んだ本は入ってますか。

- | | | |
|------------------|--------------|-------------|
| ① 愛される理由 | 二谷友理恵 著 | (朝日新聞社) |
| ② 「NO」と言える日本 | 盛田昭夫・石原慎太郎 著 | (光文社) |
| ③ うたかた 上・下 | 渡辺淳一 著 | (講談社) |
| ④ 孔子 | 井上靖 著 | (新潮社) |
| ⑤ 恋愛論 | 柴門ふみ 著 | (PHP研究所) |
| ⑥ 真夜中は別の顔 上・下 | S. シェルダン著 | (アカデミー出版) |
| ⑦ 後宮小説 | 酒見賢一 著 | (新潮社) |
| ⑧ それでも「NO」と言える日本 | 石原慎太郎他 著 | (光文社) |
| ⑨ 文学部唯野教授 | 筒井康隆 著 | (岩波書店) |
| ⑩ 日はまた沈む | ビル・イモット 著 | (草思社) |
| ⑪ 美智子皇后 | 河原敏明 著 | (講談社) |
| ⑫ この国のかたち1・2 | 司馬遼太郎 著 | (文芸春秋) |
| ⑬ わが性と生 | 瀬戸内寂聴 著 | (新潮社) |
| ⑭ 41歳寿命説 | 西丸震哉 著 | (情報センター出版局) |
| ⑮ TVピープル | 村上春樹 著 | (文芸春秋) |
- (出版ニュース 1月下旬号 より)

このうち、本校図書館には②、④、⑧の本がそろえてあります。

このような本や専門書で購入を希望する本がありましたら図書館閲覧室の投書箱へ投函下さい。

★ 新着図書について

新着図書は整理が済みしだい、閲覧室入口近くの新着図書コーナーに配列展示され、2週間後から貸出しています。ビブリアの新着図書案内は時期が遅れがちになりますので、今回は割愛いたします。別途、新着図書の案内方法について検討したいと思います。新着図書コーナーを足まめにご利用ください。

編集後記

☆ 先号でお知らせしましたように、図書館の改修計画のハード面は一応終了しましたが、ソフト面ではなすべきことが多く残っています。2月に実施した図書館サービスについてのアンケート結果については次号でお知らせします。

☆ 今回は恒例のこの3月に卒業する5年生から後輩に推薦する本の特集です。本よりも良くテレビなど他のメディアによって知ることのできることはいっぱいありますが、そこから先のイメージを広げるには本を読むことが必要です。イメージの豊かさは持たざる者にとって大きな財産であると思う。

(佐藤 恭輔)